

環境政策には重点分野ごとのプログラムが用意されています。

事象別の分野

① 地球温暖化問題に対する取組

- 京都議定書の温室効果ガス6%削減約束の確実な達成
- 温室効果ガスのさらなる長期的、継続的な排出削減等

② 物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組

- 資源消費の少ない、エネルギー効率の高い社会経済のシステムづくり
- 「もったいない」の精神も生かした循環の取組の促進とパートナーシップ
- ものづくりの段階での3Rの内部化
- 廃棄物等の適正な循環的利用と処分のためのシステムの高度化

③ 都市における良好な大気環境の確保に関する取組

- 健康で快適な都市生活環境を確保するため、良好な大気環境を確保
- 大気汚染、ヒートアイランド現象対策として環境負荷の小さい事業活動、生活様式への変革
- 環境的に持続可能な都市・交通システムの構築

④ 環境保全上健全な水循環の確保に向けた取組

- 水質、水量、水生生物、水辺地それぞれを良好に保ち、それらの持続可能な利用が図られる社会の構築と身近な水とのふれあいを通じた豊かな地域づくり
- 貯留浸透・涵養能力の保全・向上、湖辺植生、干潟、藻場等を含む水辺地の保全・再生
- 日本の取組を国際的に発信して世界の水問題解決に貢献

⑤ 化学物質の環境リスクの低減に向けた取組

- 有害性・ばく露に関する情報を収集して科学的なリスク評価を推進
- 予防的な取組方法の観点に立った化学物質のライフサイクルにわたる環境リスクの低減
- リスクコミュニケーションの推進による環境リスクに関する国民の理解と信頼の向上
- 国際協調の下での責務の履行と経験を生かした積極的な国際貢献

⑥ 生物多様性の保全のための取組

- 各種の保護地域を中核とした国土レベル・地域レベルでの生態系ネットワークの形成
- 野生動植物の保護管理・外来生物対策の充実
- 自然資源の持続可能な利用のための適切な農林漁業活動、里地里山の保全への取組

事象横断的な分野

⑦ 市場において環境の価値が積極的に評価される仕組みづくり

- 企業の環境への取組についての情報開示の促進
- 経済的手法の検討
- 環境マネジメントシステム等の環境保全に取り組む能力の向上
- SRI等の環境投資・政府調達を活用
- 国際市場を視野に入れた取組

⑧ 環境保全の人づくり・地域づくりの推進

- 環境保全のために行動する人づくり…活動と一体となった環境教育・学習推進
- 環境保全の組織、ネットワークづくり…コミュニティ・ビジネス等の持続的な取組促進
- それぞれの持つ資源や特長をいかした地域づくり…地域活性化と一体になった活動促進

⑨ 長期的な視野を持った科学技術、環境情報、政策手法等の基盤の整備

- 環境分野の研究・開発を重点的に推進
- 環境への取組に必要な情報が誰でも容易に入手できる基盤の整備
- 戦略的環境アセスメント等の行政施策における環境配慮のための手法の確立・推進
- 2050年を展望した超長期ビジョンの提示

⑩ 国際的枠組みやルール形成等の国際的取組の推進

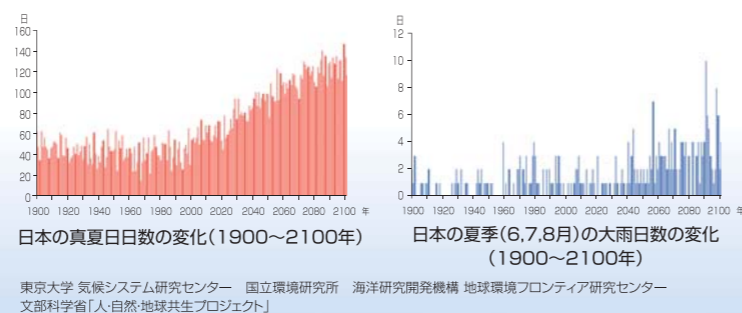
- 地球、地域、二国間レベルでの環境に関する世界的な枠組みづくりやルール形成等への主導的な貢献
- 地球環境の保全と持続可能な開発を考えた有効な仕組みを東アジア地域を中心に普及
- 開発途上地域の環境保全のための支援、国際環境研究の推進
- 多様な主体との連携の確保と情報や人材の基盤整備



2100年には最悪の場合、6.4℃気温が上昇し、59cm海面が上昇する

温暖化がもたらす深刻な影響とは…

温暖化が進むと、まず気温の上昇や大雨の頻度の増加、海面の上昇などが生じます。また、台風や熱波などの異常気象も頻度が増して、より強くなると予測されています。そうすると、自然や社会にも様々な被害が発生することになります。



気候の変化

- 冬：大陸からの寒気の吹き出しが弱まる。雪の量が減る。
- 夏：モンスーンが強まる。雨の多い地域はさらに多く、少ない地域はさらに減る。

海面の上昇

- 水深が深くなり波が大きくなる。
- 海水面が上昇して沿岸の形を変化させる。

自然環境への影響

- 自然生態系
 - 森林：植生の分布が南方系のものに変化したり一部が絶滅する。
 - 草地：自然草原の分布や種が変わる。
 - 生物多様性：高山や孤立した地域の種が絶滅する。
- 沿岸域
 - 水没したり、浸食される面積が増える。
 - 1mの海面上昇で90%の砂浜がなくなる。
- 水資源
 - 大雨の頻度が増える。
 - 川の流量が大きくなる。

人間社会への影響

- 農林水産業
 - 農業：コメの収穫量は北日本では増え、西日本では減る。
 - 林業：樹木の種や量が変わり被害を受ける。
 - 水産業：サケなどの生息域の南限が北上する。
- 産業やエネルギー
 - 沿岸域などの観光資源が被害を受ける。
 - エネルギーの需要が増える。
- 国土の保全
 - 高潮や台風の被害が増える。
- 健康
 - 日射病などの熱中症が増える。